２０２１年度事業報告

特定非営利活動法人全国盲ろう児教育・支援協会

|  |  |
| --- | --- |
| 2021年度 | 事業報告書 |

特定非営利活動法人全国盲ろう児教育・支援協会

１　事業の成果

　　定款上の「事業の種類」ごとに記載してください。

　当協会は２０１９年４月に設立して以来、社会福祉法人全国盲ろう者協会と密接に連携して、文部科学省などの関係方面に対し、わが国における盲ろう教育の推進を強く訴えてきました。その結果、２０２０年度文部科学省予算に、盲ろう児に対する特別支援教育に関する委託研究事業の予算が初めて計上されましたが、２０２０年度当初からの新型コロナ感染症の流行拡大により、文部科学省の判断で、この事業は中止となりました。しかしながら、２０２１年度においては、文部科学省の委託研究予算が再計上され、当協会がこの研究事業(「学齢盲ろう児の学習と教育の内容と方法が卒後の盲ろう児の生活に与える影響に関する研究」)を受託して研究を進め、研究報告書を提出することができました。

　また、この文部科学省の予算とは別に、２０２０年度において、盲ろう児とその家族に対する訪問相談や盲ろう児のキャンプなどの支援事業の実施に向けて、ファーストリテイリング財団から多額の助成金を得ることができたのですが、盲ろう児や家族への支援には、接触や接近が欠かせないことや、万一、盲ろう児が新型コロナウイルスに感染した場合の隔離や入院治療の困難性などを考慮して、２０２０年度に当協会が計画していた支援事業については、全面的に「凍結」せざるを得ませんでした。この助成金については、ファーストリテイリング財団のご好意により、２０２１年度に繰り越すことが認められ、当協会としては、前年度に「凍結」した事業の実施を目指しましたが、誠に遺憾ながら、新型コロナ感染症の流行拡大が続く中で、事業の全面的な「凍結」は継続せざるを得ませんでした。(当該助成金については、再度、翌年度に繰り越す方向)

２　事業の実施に関する事項

（１）特定非営利活動に係る事業　　　　　　　　　　　　　　（事業費の総費用【1,130】千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 受益対象者範囲 | 受益対象者人数 | 事業費（千円） |
| 盲ろう児に関する啓発事業 | 盲ろう児支援に関するパンフレットを配布した。 | 4月以降 | 全国 | 2人 | 盲ろう児家族及び関係者等 | 不確定 | 0 |
| 協会のホームページにおいて、盲ろう児支援に関する啓発を行った。 | 4月以降 | 全国 | 2人 | 同上 | 同上 | 0 |
| 新聞等のメディアに対して盲ろう児支援に関する情報発信を行った。 | 4月以降 | 全国 | 2人 | 同上 | 同上 | 0 |
| 盲ろう児の保護者に対する相談事業 | 電話、メール、オンラインなどにより可能な範囲での相談に対応した。 | 4月以降 | 全国 | 2人 | 同上 | 同上 | 0 |
| 盲ろう児及び盲ろう教育全般に関する調査・研究事業 | 盲ろう教育に関する調査・研究事業予算の継続に向けて、文部科学省に対する要望活動を行った。 | 4月以降 | 東京 | 2人 | 同上 | 同上 | 0 |
| 盲ろう教育に関する委託研究事業を文部科学省が公募し、当協会が受託団体に選定された。当協会では「盲ろう児に対する特別支援教育に関する研究委員会(代表　福島智)」を設置して研究事業進め、研究報告書を提出した。 | 4月以降 | 全国 | 4人 | 同上 | 同上 | 1,130 |

（２）その他の事業　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（事業費の総費用【　　　　】千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 事業費（千円） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |